

日刊 磐城時報 編輯者 石城郡 町田 成 印刷者 石城郡 町田 成 發行所 石城郡 町田 成 電話 二四〇 郵政掛號 第三三三號 廣告料 一行十四字 日金五拾錢 休刊 日刊 (日曜、祭日)

# 平町初町會 開會に先たつて 各派交渉會を開く 委員任命平穩に終る

平町會議員改選後の初町會は二十一日午前十時から元石城郡役所に召集されたが、議員新顔といふ事に興味を持つて傍聴者は早朝から詰めかけ刻々には二百余名に達した、之より先き平町會議員改選、政友會、中正會、一新會の各派では委員任命について協議を開く事となり、午前八時半から、

政友會 萩原義雄、吉田五平、中正會 馬目武之助、一新會 齋藤敏實、花澤五五

各氏が協議の上委員の詮衡を行ひ午前十時四十分交渉委員が會議室に於て、中正會、政友會、一新會も夫々協議を遂げた、午前十一時愈々着席した、着席と同時に伏見町長が議長席を離れて、

平町會議員改選後最初の町會を開き各位と相見する事は私の欣幸とする處である、各位は平町民の輿望を擔はれ町會議員に御當選になつた事は衷心喜びに堪へない處である、今後一段の御努力を拂はれまして平町民の福利増進といふ附議したが、

本年度の縣稅家屋稅賦課額は二萬四千三百六十三圓十錢で前年度より十二圓四十四錢減で、賦課すべき建坪は四十萬七千九百三坪七合である、昭和三年十月一日以後新築にかゝるものは二千八百三十六坪五合である。

この家屋稅の賦課標準となる地等級の割合は昭和三年度分の席にあり町治のため盡瘁する覚悟であるが、各位の御指導御鞭撻を仰ぐに非れば職責を全ふする事困難であるから今後御指導御鞭撻を願つて止まらぬ次第である、

祝辭を述べた後席次を抽籤によつて定めた結果次の如く決定した、

一、佐藤岩次郎 二、荒川淺次郎 三、萩原義雄 四、佐々木龍若 五、武田元之助 六、永山富廣 七、大森勇 八、根本品藏 九、國府田直良 十、齋藤敏實 十一、馬目武之助 十二、吉村安次郎 十三、櫻井清 十四、鈴木光 十五、馬目雅治 十六、吉田寅之助 十七、千葉彦治 十八、吉田五平 十九、井上茂 二十、花澤五五 二十一、猪狩庄平 二十二、青沼隆太郎 二十三、石山治三郎 二十四、野崎滿藏 二十五、高橋龜松 二十六、關内正一 二十七、柳下元吉 二十八、荒川恒次郎 二十九、坂本隆藏 三十、緑川喜三郎

▲臨時出納検査立會議員  
一、萩原義雄 (民政)  
二、佐々木龍若 (政友)  
三、青沼隆太郎 (一新)  
四、野崎滿藏 (民政)  
五、坂本隆藏 (中正)  
六、土木委員 (七名)  
馬目武之助 (中正)  
吉村安治郎 (民政)  
吉田寅之助 (民政)

吉田五平 (民政)  
高橋龜松 (一新)  
荒川恒次郎 (民政)  
緑川喜三郎 (中正)  
▲第三小學校建築委員 (十一名)  
佐藤岩次郎 (民政)  
荒川淺次郎 (民政)  
佐々木龍若 (政友)  
永山富廣 (民政)  
根本品藏 (中正)  
齋藤敏實 (一新)  
鈴木光吉 (中正)  
井上茂作 (政友)  
花澤五五 (一新)  
石山治三郎 (政友)  
武田元之助 (民政)

▲第四小學校建築委員 (九名)  
大森勇 (民政)  
根本品藏 (一新)  
國府田直良 (政友)  
千葉彦治 (政友)  
吉田五平 (民政)  
猪狩庄平 (中正)  
關内正一 (中正)  
櫻井清 (民政)

▲平町役場新築委員 (九名)  
國府田直良 (政友)  
齋藤敏實 (一新)  
馬目雅治 (政友)  
井上茂作 (政友)  
花澤五五 (中正)  
猪狩庄平 (中正)  
野崎滿藏 (民政)  
柳下元吉 (民政)  
坂本隆藏 (中正)

▲區長其他決定 平町當局では左の如く區長を推薦し平町會の認定を得た、

第三區馬目武之助、第六區山崎孝之助、第十區長小次郎、第十二區酒井政之助、第十五區花澤五五、第十八區仲野伊重、區長代理者第三區關内喜久次郎、第十區山崎孝之助、第十二區吉田由三郎、第十五區新井滋造、第二十三區酒井猶次、第二十四區鈴木廣成、

▲區長代理辭任 平町第五區長代理白土貞三、第十三區長代理者青木秀治の兩氏は家事上辭任した。

▲四倉爾市場 四倉爾市場二十日取引左の如し、

白蘭一四四貫、最高八二圓四十錢、最低五五圓平均七十八圓六十錢、黃蘭二一〇貫、最高七十五圓十錢、最低六十二圓、平均七十二圓十錢、

▲區長代理辭任 平町第五區長代理白土貞三、第十三區長代理者青木秀治の兩氏は家事上辭任した。

## 猪狩氏等の實業會、中正會の改稱 四派の現在勢力

新平町會議員の分野は初町會を控へ鈴木光吉氏が猪狩庄平氏等の實業會に入つたので實業會では中正會と名稱を變へ議員七名を有して平町會に於て民政黨には一層に水際立ち目立つてゐるからである。總意を「に」に抱負させることは、余り輕率ではなからぬと思はれるので、今少し動性にかつて更に根柢をより好く野崎滿藏、萩原義雄、武田元之助、荒川淺次郎、佐藤岩次郎、國府田直良、高橋龜松、佐々木龍若、千葉彦治、關内正一、馬目武之助、根本品藏、鈴木光吉、緑川喜三郎、一新會、青沼隆太郎、大森勇、花澤五五、荒川恒次郎、齋藤敏實。

## 俳句片々 (七)

曲水雜詠 三木谷陽子選

不動的、なめぐらだどて悪くはないが、動性、なめぐらならは、中正會と名稱を變へ議員七名を有して平町會に於て民政黨には一層に水際立ち目立つてゐるからである。總意を「に」に抱負させることは、余り輕率ではなからぬと思はれるので、今少し動性にかつて更に根柢をより好く野崎滿藏、萩原義雄、武田元之助、荒川淺次郎、佐藤岩次郎、國府田直良、高橋龜松、佐々木龍若、千葉彦治、關内正一、馬目武之助、根本品藏、鈴木光吉、緑川喜三郎、一新會、青沼隆太郎、大森勇、花澤五五、荒川恒次郎、齋藤敏實。

## 區長其他決定

平町當局では左の如く區長を推薦し平町會の認定を得た、

第三區馬目武之助、第六區山崎孝之助、第十區長小次郎、第十二區酒井政之助、第十五區花澤五五、第十八區仲野伊重、區長代理者第三區關内喜久次郎、第十區山崎孝之助、第十二區吉田由三郎、第十五區新井滋造、第二十三區酒井猶次、第二十四區鈴木廣成、

## 區長代理辭任

平町第五區長代理白土貞三、第十三區長代理者青木秀治の兩氏は家事上辭任した。

## 四倉爾市場

四倉爾市場二十日取引左の如し、

白蘭一四四貫、最高八二圓四十錢、最低五五圓平均七十八圓六十錢、黃蘭二一〇貫、最高七十五圓十錢、最低六十二圓、平均七十二圓十錢、

## ハガキ集

投書歡迎

病院の向の菓子屋人面獸心とあれの事だ、よく反省して見ろ、あそこの菓子は食へぬぞ、 (目あき生)

## 俳句片々 (七)

曲水雜詠 三木谷陽子選

不動的、なめぐらだどて悪くはないが、動性、なめぐらならは、中正會と名稱を變へ議員七名を有して平町會に於て民政黨には一層に水際立ち目立つてゐるからである。總意を「に」に抱負させることは、余り輕率ではなからぬと思はれるので、今少し動性にかつて更に根柢をより好く野崎滿藏、萩原義雄、武田元之助、荒川淺次郎、佐藤岩次郎、國府田直良、高橋龜松、佐々木龍若、千葉彦治、關内正一、馬目武之助、根本品藏、鈴木光吉、緑川喜三郎、一新會、青沼隆太郎、大森勇、花澤五五、荒川恒次郎、齋藤敏實。

理化學研究所製

吸入用酸素酸素吸入器

正確体温器 寒暖計

特約店 磐城平町 関内藥局

死悶腹抱笑爆笑微る益情純氣意の者若比無快壯... 大野馬丸

三大名篇 遂公開 阪妻フロ草間派大作映畫 草間 實主演

内臓外科 骨節外科 整形外科 藤本順

産婦人科 婦人科 木村寅次郎

産婦人科 木村病院

平町 川町 (電話一六四)

上品雅味 割烹末廣 電話四二二番

隨入時院 市原病院 平町田町本通

家屋賣物 平町新田町目貫の場所

料店向き 但し電話付き 姓名在社

アイスクリーム・ミルクケーキ 藤市

耳鼻咽喉科 問專

新築場所 合津醫院 電話五九五番

募集廣告

右至急募集ス 丸はん家具製作所

外科 門 光線科

石版印刷 三國屋印刷所

初夏

新案特許 デリケートト麦帽子

貸家案内 白銀町 商店向 二十圓

鐵血團 全八巻 龍澤憲・花尾静一・住之江田鶴子・等共演

親子鳥 全八巻 指きり小きり何時までもちやん

三人吉三前篇 松本三郎・中村小福・尾上紋十郎・大演演